

チェコ産業貿易省 日本招聘

JICC は 2025 年 2 月 3 日から 7 日の期間に、チェコ産業貿易省(MoIT)をはじめとする原子力関係機関の関係者 8 名を日本へ招聘した。

【経緯/目的】;

原子力発電増設を計画中のチェコの原子力関係者を日本招聘し、日本の原子力発電の現状と今後の原子力産業界の動向を理解いただき、チェコ側との良好な関係構築の一助とする。

【結果】;

- ① チェコ産業貿易省(MoIT)との調整を踏まえ、原子力発電環境整備機構(NUMO)、日本原燃株式会社(JNFL)六ヶ所、リサイクル燃料貯蔵会社(RFS)の放射性廃棄物管理/地層処分に関連機関をメインに、福島第一サイト視察を含むスケジュールとした。
- ② MoIT にチェコ側の専門家を選任いただき招聘し、日本の訪問先の専門家との意見交換を行う場を設定することで有意義な意見交換ができた。
- ③ チェコ大使館のご厚意により、被招聘者 8 名の歓迎会をチェコ大使館で開催した。マルチン・クルチャル駐日チェコ共和国大使館全権大使、内閣府 上坂原子力委員長から歓迎のご挨拶をいただき、関係者の交流・懇談の場ともなり、良好な関係構築に繋がった。



福島第一サイト訪問:1-4号機を俯瞰できる高台より
(1号機から約80mの距離) 出典:東京電力ホールディングス(株)



原子力発電環境整備機構(NUMO)訪問



日本原燃株式会社(JNFL)六ヶ所訪問



リサイクル燃料貯蔵会社(RFS)訪問